

所属機関長各位

2023年度 研究助成のご案内について

拝啓 時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団の活動に格別なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ご承知の如く本財団は、研究助成事業と顕彰事業を2本の柱とする事業を展開しております。

このたび2023年度の研究助成事業として「臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究」の領域でより優れた学術研究・業績テーマに対して研究助成を行います。昨年度より本財団創立30周年を記念いたしまして、期限付ではありますが、新たな対象領域として「感染危機管理」を設けました。

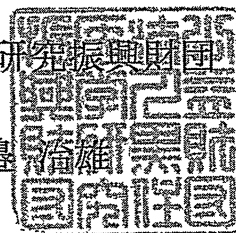
早速ながら、本年度の研究助成金申請書を作成しましたので、お届けいたします。ご多忙中のところ、恐縮ではございますが貴機関の関係者にご伝達の上、**2023年5月31日水曜日(当日消印有効)**までに、申請者ご自身から本財団宛に申請くださいますようお願いの程、ご案内かたがたお願い申し上げます。

敬具

2023年3月吉日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

代表理事・理事長 渡邊 裕雄



※公益財団法人 黒住医学研究振興財団の事務局は
東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル7
TEL 03-5846-3504 FAX 03-5846-3514
URL <http://www.kmf.or.jp> E-mail : info@kmf.or.jp

公益財団法人 黒住医学研究振興財団
2023 年度 第 31 回 研究助成金募集要項

1. 研究助成事業の対象

研究助成は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究で、より優れた学術研究・業績を研究助成事業の対象とし、若手の育成（原則として 50 歳以下）を主眼としています（詳細については本財団ホームページ「よくあるご質問」をご参照ください。）。

2. 応募資格

医学関連の大学及びその他の教育機関、研究所並びに医療機関等において、本研究助成事業の対象領域において調査、研究に積極的に取り組もうとする個人とします。

ただし、大学教授及び国公私立研究機関の部長並びにこれらに準ずる職位の方は除きます。

3. 対象領域

- | | | |
|-----------|-------------|---------------------|
| ① 臨床化学 | ② 分子生物学（医学） | ③ 臨床微生物学 |
| ④ 臨床免疫学 | ⑤ 検査血液学 | ⑥ 人体病理学 |
| ⑦ 疫 学 注 1 | ⑧ 一般・生理学 | ⑨ <u>感染危機管理</u> 注 2 |

の 9 つの領域とします。

注 1：臨床検査・衛生検査についての集団(mass)を対象に扱う研究

注 2：次なるパンデミック対応、バイオリスク管理、施設内感染防止、感染制御、
マスギャザリング対策等

4. 募集期間

2023 年 3 月 15 日（水）から 2023 年 5 月 31 日（水）までとします。

なお、郵送の場合は当日の消印まで有効です。

5. 研究助成件数及び研究助成額

研究助成額は、対象領域①～⑧は 1 件 100 万円を限度とし、助成件数は 15 件以上とします。

また、対象領域⑨は 1 件 150 万円を限度とし、助成件数は 2 件ないし 3 件とします。

6. 応募方法

所定の申請書に記入し、本財団 研究助成金選考委員会 宛に送付してください。

なお、提出部数は「原本と複写 2 部」の合計 3 部を送付してください。

☆申請書は必ず公益財団法人黒住医学研究振興財団のホームページからファイルをダウンロードしてご使用ください（年度毎に改訂されますのでご注意ください。）。

URL <http://www.kmf.or.jp/>

7. 審査方法及び通知

本財団の委嘱する審査委員が9つの対象領域ごとに審査したあと、選考委員会で選考審査を行い、理事会で研究助成の対象を決定します。その結果は、9月末日に本財団ホームページに掲載し、受贈者にその旨を通知いたします。

8. 研究助成金の贈呈

2023年10月27日(金)の小島三郎記念文化賞贈呈式にあわせて、研究助成金を贈呈する予定です。

9. 受贈者の研究助成金受領後の義務

以下の事項を研究助成金受領後(贈呈式後)、1年以内に本財団事務局へ提出していただきます。

- ① 研究期間は、原則として研究助成金受領後1年間とし、その研究結果について本財団指定様式にて2,000字以内で報告書を作成すること。1年間で終了しない場合は、中間報告として研究・会計報告書を作成すること。

(報告書は年報・本財団ホームページ・研究業績集に掲載させていただきます。)

- ② 会計報告については本財団指定様式にて作成すること。

なお、受贈者が研究結果を発表する口頭発表論文発表等には本財団の研究助成を受けた旨の附記(英字表記の場合は、「KUROZUMI MEDICAL FOUNDATION」)を必ずしてください。

※「研究報告書」の本財団事務局への提出が確認できない場合には、当該研究課題について贈呈した研究助成金の贈呈決定を取り消し、受領した助成金の返還を求めるとともに、所属する研究機関の名称等の情報を公表する場合があります。

10. 申請書類の提出先

〒110-8408

東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 研究助成金選考委員会 宛

(問い合わせ先)

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 事務局

TEL 03-5846-3504

FAX 03-5846-3514

E-mail info@kmf.or.jp

附記

- 所属機関長は、大学長、研究所長、病院長及びそれに相当する職域の長であることが必要となります。
- 応募の書類は、一切返却いたしません。
- 贈呈される助成金には、大学等の間接経費(事務処理経費)は含みません。

第 30 回研究助成金贈呈者の研究課題一覧 (2022 年度) 参考

氏 名	所 属	研 究 課 題	選考対象
あいざわ けんいち 相澤 健一	自治医科大学附属病院臨床薬理センター 室長 (准教授) 医学博士	病理質量分析による心アミロイドーシス診断法の開発と臨床応用	臨床化学
あおぬま ひろか 青沼 宏佳	東京慈恵会医科大学医学部熱帯医学講座 講師 医学博士	vDNA を標的とした迅速・簡便なウイルス媒介蚊検査技術の開発	感染危機管理
あきた けん 浅田 健	国立研究開発法人理化学研究所革新知能総合研究センター 研究員 医学博士	融合遺伝子解析を含めた新規肺がん統合マルチオミクス解析プラットフォームの構築	分子生物学
うねだ あつひと 畝田 篤仁	国立がん研究センター研究所脳腫瘍連携研究分野 研究員 医学博士	2021WHO 中枢神経腫瘍分類に対応した網羅的脳腫瘍カスタムパネルによる遺伝子診断体制の構築	分子生物学
おぐら ひでき 小椋 英樹	兵庫医科大学医学部病原微生物学講座 講師 医学博士	SARS-CoV-2 特異的 CTL 解析を基盤とした COVID-19 病態モニタリング法の開発	臨床免疫学
かたやま あやか 片山 彩香	群馬大学大学院医学系研究科病理診断学 講師 医学博士	AIを用いた病理組織画像解析による Stage II 大腸癌の術後補助化学療法の最適化	人体病理学
かみお なるみ 神尾 成美	国際医療福祉大学成田病院検査部 臨床検査技師	フローサイトメトリーを用いた環状鉄芽球判定法の開発	検査血液学
かわむら よしき 河村 吉紀	藤田医科大学医学部小児科学 講師 医学博士	イムノクロマト法による突発性発疹 (ヒトヘルペスウイルス 6B 初感染) の迅速診断法開発	臨床微生物学
かわむら りょういち 川村 良一	愛媛大学大学院医学系研究科糖尿病内科学講座 特任講師 医学博士	レジスチン SNP・白血球特異的遺伝子発現相乗効果を標的とした 2 型糖尿病の高精度医療の確立	疫学
しば えいすけ 柴 瑛介	産業医科大学第一病理学 助教	脂肪肉腫における MDM2 cRNA in situ hybridization の診断学的有用性の検討	人体病理学
たに りな 谷 里奈	奈良県立医科大学分子病理学 講座 講師 医学博士	ヒト剖検症例におけるがん性悪液質関連心筋障害の病理組織学的検討	人体病理学
とりい ゆうた 鳥居 裕太	神戸市立医療センター中央市民病院臨床検査技術部 臨床検査技師 医学博士	うつ血性心不全患者におけるエコーを用いた包括的うつ血評価と心血管イベント発症の関連	一般・生理学
ひした あきひ 菱田 朝陽	名古屋大学大学院医学系研究科予防医学 准教授 医学博士	血清中金属元素測定によるがん早期診断・リスクマーカーとしての感度分析	疫学
まえかわ まさみつ 前川 正充	東北大学病院 准教授・副薬剤部長 薬学博士	液体クロマトグラフィー/タンデム質量分析法を用いた尿中抱合型コレステロール代謝物の超高感度・高速分析法の構築とニーマンピック病 C 型の診断スクリーニングへの応用	臨床化学
まるやま かずあき 丸山 和晃	三重大学大学院医学系研究科修復再生病理学 学内講師 医学博士	小児 COVID-19 関連多系統炎症性症候群の心臓検体による炎症細胞動態の解析	感染危機管理
みうら きおり 三浦 里織	福島県立医科大学保健科学部臨床検査学科 助教 同大学附属病院輸血・移植免疫部 医学博士	白血病関連遺伝子変異を有する血球が血栓症を惹起する機序の解明とバイオマーカーの開発	分子生物学
みきた けい 三木田 馨	慶應義塾大学医学部感染症学 教室 専任講師 医学博士	LAMP 法と DNA クロマトグラフィーを組み合わせた <i>Mycobacterium avium</i> complex 臨床分離株のマクロライド耐性変異に関する簡易検査法の開発	臨床微生物学
やまもと けいいち 山本 景一	熊本大学病院 中央検査部微生物検査室 主任臨床検査技師	熊本地域の感染制御ネットワークによる独自の微生物サーベイランスシステムを利用した MRSA の分子疫学解析	感染危機管理

総申請者数

166 名

研究助成金総額 1,700 万円 (18 名)